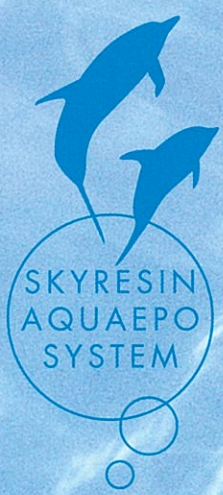


SKYRESIN AQUA EPO SYSTEM



独自の技術が明日を拓く
大日化成株式会社

本社 〒571-0300 大阪府門真市末広町8-13
 TEL (06) 6909-6755(代) FAX (06) 6909-6702

東京支店 〒105-0012 東京都港区芝大門1-4-14
 TEL (03) 3436-3801(代) FAX (03) 3436-3803

岡山工場 〒709-4312 岡山県勝田郡勝央町黒土115-1
 TEL (0868) 38-5151(代) FAX (0868) 38-3745

ホームページ <http://www.dainichikasei.co.jp>

■施工代理店

本カタログに表示されているデータの数値換算は次の通りです。

1 N=0.102 kgf
 1 N/mm² (MPa) =10.2 kgf/cm²
 1 mPa·s=1 cP

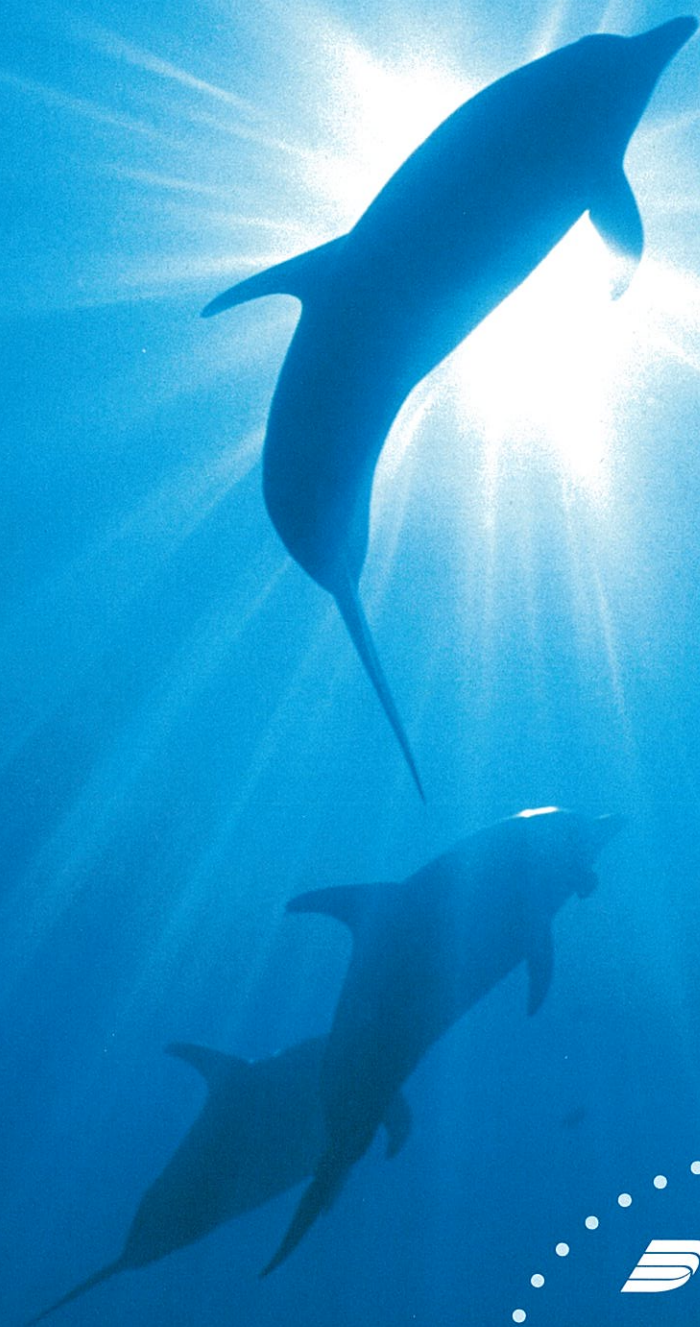
※本カタログは、リサイクルペーパーを使用しています。

KENE-532K

上水道施設
 コンクリート構造物
 の防食工法

スカイレジン アクアエポシステム

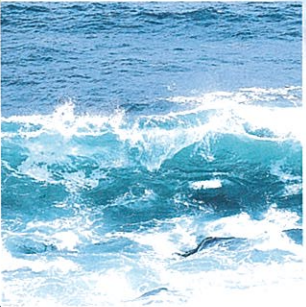
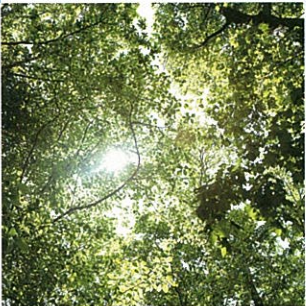
日本水道協会規格 JWWA K143 (2004) 適合仕様
 厚生労働省令第15号適合品



DAINICHI CHEMICAL CO.,LTD.

人と自然に優しい 水道用コンクリート 防食システム

上水道用スカイレジンアクアエポシステムは、
上水道用施設のコンクリートを
保護する防食システムです。
また、このシステムは
大日化成のコンセプト「安全な材料」に基づき、
全工程を水分散性材料ですべて構成しています。



用途

- 上水道用コンクリート水槽の内面防食（浄水施設・配水池・受水槽など）
- その他コンクリート水槽の内面防食（貯水槽・遊水池・防火水槽など）

特長

1. JWWA K143(2004)の品質規定に適合しています。※1
 2. アクアエポシステムの材料は全て水分散性の特性を有し、湿潤接着性に優れ、安全な施工が可能です。
 3. 界面活性剤を含まない親水性ポリアミンを使用しているため従来の強制乳化型エポキシと比べて耐水性、耐薬品性が向上しています。
- ※1 J-1工法において厚生省令第15号及び厚生労働省令第15号浸出試験の基準に適合しています。

<強制乳化型エポキシ>

界面活性剤によりエマルジョン化

硬化物中に界面活性剤を含む

- ・湿潤接着性が優れる
- ・耐水性の低下
- ・耐薬品性の低下

<スカイレジンAQ-2500>

親水性ポリアミンの活性力により水分散性能を発揮

硬化物中に界面活性剤を含まない

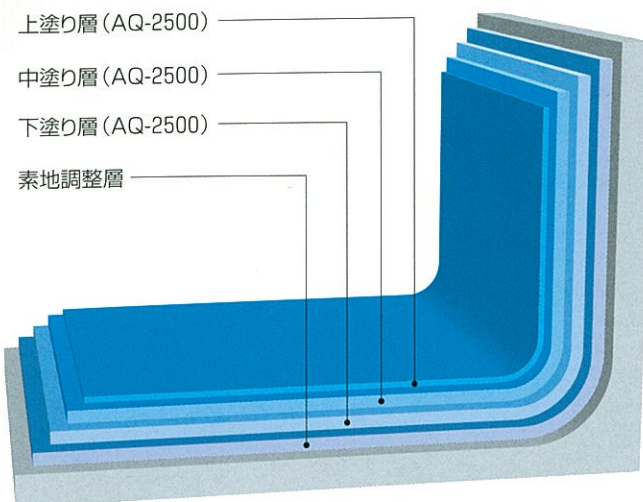
- ・湿潤接着性が優れる
- ・耐水性が優れる
- ・耐薬品性が優れる

4. 塗膜物性と耐薬品性が優れていますので長期間にわたりコンクリートを防食します。
5. 塗装硬化後は美しく、光沢のある塗膜が得られます。
6. 素地調整材との接着性に優れていますので、膨れやアルカリ成分の溶出の心配がありません。

試験結果報告書

| 試験結果報告書 | 試験結果報告書 | 試験結果報告書 | 試験結果報告書 |
|---------|---------|---------|---------|
| | | | |

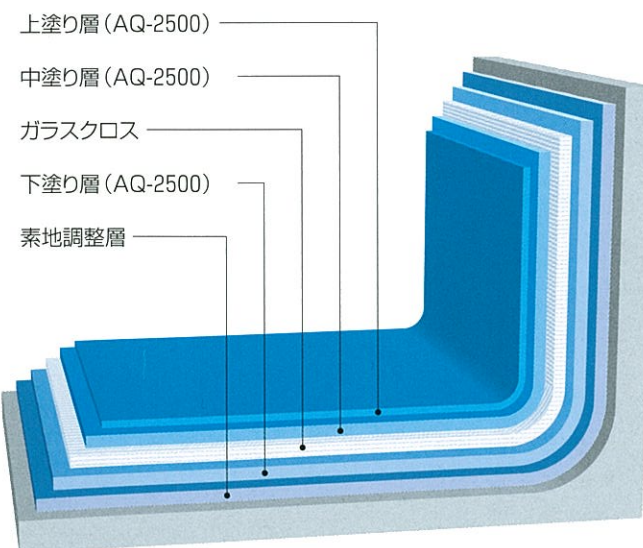
J-1工法



| 工程 | 製品名 | 混合比 | 塗布量 (kg/m ²) | 塗装方法 | 塗装間隔 |
|---------|------------------|------------|--------------------------|----------------------|---------|
| 素地調整 | スカイレジリアクアEPC-T | 主材:硬化剤=3:1 | 1.0~2.0 | 鍍塗り(JWWA K143に準じて行う) | 16時間~7日 |
| 下塗り | スカイレジリアクアAQ-2500 | 主材:硬化剤=3:1 | 0.35 | ローラー塗りなど | 16時間~7日 |
| 中塗り | スカイレジリアクアAQ-2500 | 主材:硬化剤=3:1 | 0.30 | ローラー塗りなど | |
| 上塗り | スカイレジリアクアAQ-2500 | 主材:硬化剤=3:1 | 0.30 | ローラー塗りなど | |
| 合計乾燥塗膜厚 | | 500μm以上 | | 下塗り、中塗り、上塗りの合計 | |

同工法は厚生省令第15号浸出試験及び厚生労働省第15号浸出試験の基準に適合しています。

J-2工法



| 工程 | 製品名 | 混合比 | 塗布量 (kg/m ²) | 塗装方法 | 塗装間隔 |
|---------|------------------|------------|--------------------------|----------------------|---------|
| 素地調整 | スカイレジリアクアEPC-T | 主材:硬化剤=3:1 | 1.0~2.0 | 鍍塗り(JWWA K143に準じて行う) | 16時間~7日 |
| 下塗り | スカイレジリアクアAQ-2500 | 主材:硬化剤=3:1 | 0.40 | ローラー塗りなど | 16時間~7日 |
| クロス貼り | ガラスクロスEPF21A | | | | |
| 中塗り | スカイレジリアクアAQ-2500 | 主材:硬化剤=3:1 | 0.30 | ローラー塗りなど | |
| 上塗り | スカイレジリアクアAQ-2500 | 主材:硬化剤=3:1 | 0.30 | ローラー塗りなど | |
| 合計乾燥塗膜厚 | | 700μm以上 | | 下塗り、中塗り、上塗りの合計 | |



JWWA K143 試験データ



| 試験項目 | 試験結果 | 規格 | |
|----------|--|----------------------------------|----------------------------------|
| | | JWWA K143 (2004) | 水道用コンクリート水槽内面エポキシ樹脂塗料塗装方法 |
| 容器内での状態 | 適合 | 主剤、硬化剤ともにかき混ぜたとき堅い塊がなくて一様になること。 | |
| 塗料 | 混合性 | 適合 | 所定の配合により均一に混合できること。 |
| | 塗装作業性 | 適合 | 塗り作業に支障を来さないこと |
| | 硬化乾燥時間 (時間) | 適合 | 16時間以内 (20℃±1℃) に硬化乾燥状態になっていること。 |
| 加熱残分 (%) | 91 | 水系 50以上 | |
| 外観 | 適合 | しわ・たるみ・割れ・へこみがないこと | |
| 塗膜 | 付着強さ (標準状態) N/mm ² {kgf/cm ² } | 3.7 {37.8}※2 | 1.5 {15.3} 以上 |
| | (吸水状態) | 4.4 {44.9}※2 | 1.2 {12.2} 以上 |
| 物性 | 耐衝撃性 | 適合 | 割れ・はがれがないこと |
| | 耐アルカリ性 | 適合 | 膨れ・割れ・はがれがないこと |
| 性 | 透水性 (g) | 0.00 | 透水量 0.2以下 |
| | 塩素イオン透過度 (mg/cm ² ・日) | 測定下限値 (0.7×10 ⁻³) 以下 | 1.0×10 ⁻³ 以下 |
| 浸 | 低温・高温繰り返し | 適合 | 割れ・はがれがないこと |
| | 濁度 (度) | 0.2以下 | 0.2以下 |
| ※1 | 色度 (度) | 0.5以下 | 0.5以下 |
| | 有機物 (全有機炭素(TOC)の量) (mg/L) | 0.5以下 | 0.5以下 |
| 出 | 残留塩素の減量 (mg/L) | 0.3 | 0.7以下 |
| | 臭気 | 異常なし | 異常でないこと |
| 性 | 味 | 異常なし | 異常でないこと |
| | シアン化物イオン及び塩化シアン (mg/L) | 0.001以下 | 0.001以下 |
| 性 | フェノール類 (mg/L) | 0.0005以下 | フェノール量の換算して0.0005以下 |
| | エピクロロヒドリン (mg/L) | 0.01以下 | 0.01以下 |
| | アミン類 (mg/L) | 0.01以下 | トリエチレンテトラミンとして0.01以下 |
| | 非イオン界面活性剤 (mg/L) | 0.005以下 | 0.005以下 |
| | 使用可能な最低気温及び最高気温 | 5℃~35℃ | |

その他のデータ

| 試験項目 | | 試験結果 | | 規格 |
|-----------------|--------|------|------|--------|
| | | 夏用※3 | 冬用※3 | |
| 可使時間(分) | 10℃ | 80 | 40 | - |
| | 20℃ | 40 | 20 | - |
| | 30℃ | 20 | 10 | - |
| 硬化乾燥時間(時間) | | 夏用※3 | 冬用※3 | |
| | 10℃ | 40 | 24 | - |
| | 20℃ | 16 | 15 | 16時間以内 |
| 30℃ | 14 | 12 | - | |
| 使用可能な最低気温及び最高気温 | 5℃~35℃ | | - | |

注) *1: 浸出試験の各項目の値は材料試験によって得られた検水の分析値と空試験によって得られた検水の分析値との差である。
 *2: J-1工法の試験の結果。
 *3: 夏用配合4月~10月、冬用配合は10月~4月の期間に適用。

使用材料

| 工程 | 製品名 | 荷姿 | 備考 |
|----------------|-------------------|------------------|---|
| 素地調整 | スカイレジリアクアEPC-T | 主材/15kg・硬化剤/5kg | 標準厚/0.5~1.0mm |
| 上塗り・中塗り 下塗り | スカイレジリアクアAQ-2500 | 主材/9kg・硬化剤/3kg | 色調/F69-70L(日塗工) 主材:18L缶入り 硬化剤:6L缶入り |
| 補強材 | ガラスクロス (EPF21A適合) | 100m巻き | 幅/104cm・26cm |
| 補修材 | スカイレジリアクアパテ | 主材/20kg・硬化剤/10kg | 缶入り |
| プライマー | スカイレジリアクアプライマー | 主材/4kg・硬化剤/4kg | プラスチック容器/ケース入り (標準塗布量0.15kg/m ²) |



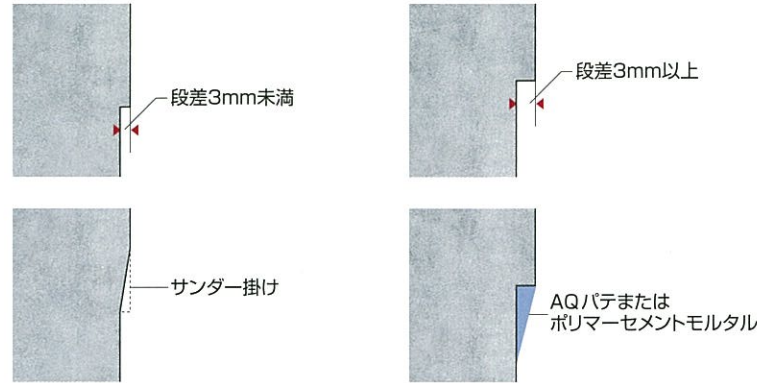
下地処理例

コンクリートの前処理及び表面処理については、JWWA K 143の付属書2(規定)に準じて行って下さい。



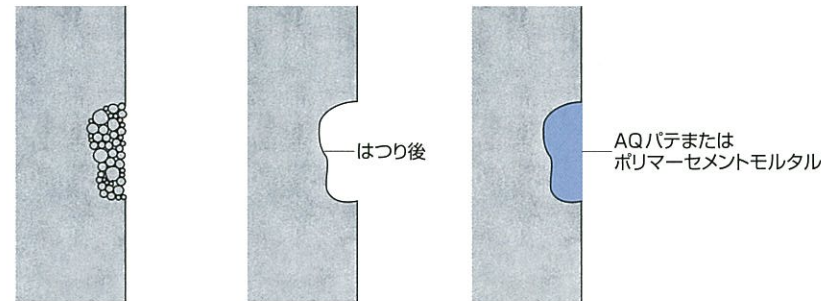
型枠段差の処理

型枠継目にできた3mm未満の段差は、サンダー掛けにより平滑な面にしてください。3mm以上の段差はサンダー掛け後、AQパテまたはポリマーセメントモルタル等を使用して平滑に仕上げてください。



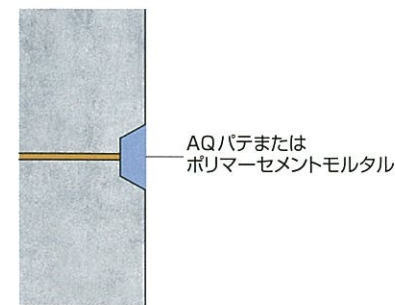
豆板(ジャンカ)の処理

豆板箇所は、健全なコンクリート部分が見れるまではつり取り、AQパテまたはポリマーセメントモルタル等を充填し平滑に仕上げます。



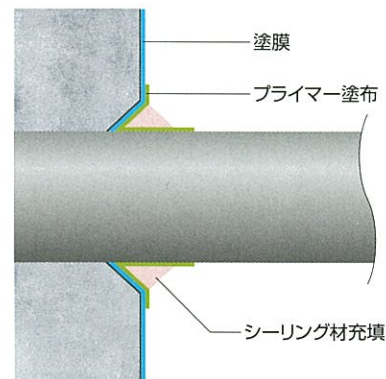
木コンの処理

木コン内部を清掃し、AQパテまたはポリマーセメントモルタル等を充填し平滑に仕上げます。



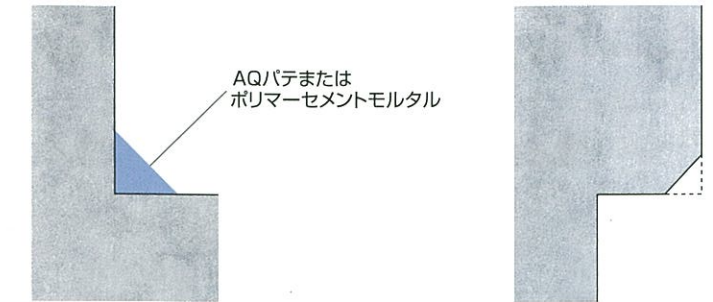
管廻りの処理

300φ以上の口径については、Vカットし、シーリング材で処理します。



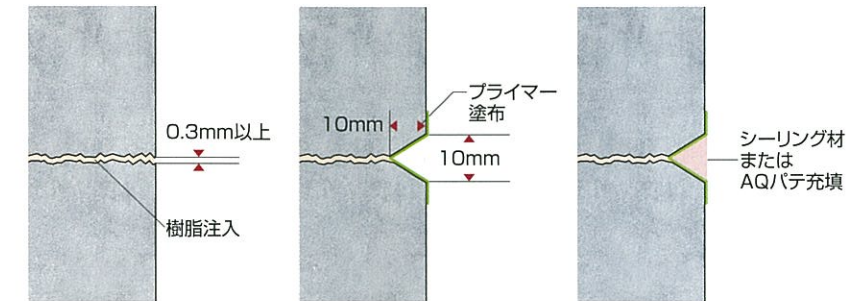
出隅・入隅の処理

出隅はサンダー掛けして角を落とします。入隅はAQパテまたはポリマーセメントモルタル等にて面を取ります。



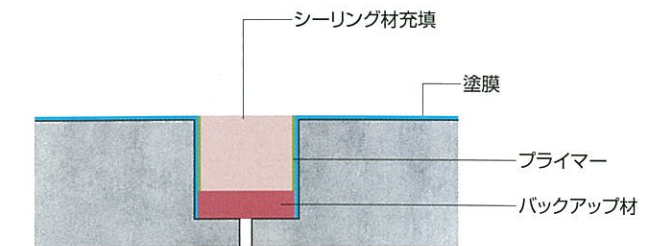
ひびわれ処理

ひびわれ巾0.3mm以上は、ひびわれに沿って10mm×10mm程度にVカットし、プライマー塗布後、シーリング材またはAQパテを充填し平滑に仕上げます。



伸縮目地

目地内のレイトランスを除去し、塗膜が充分乾燥した後、バックアップ材を充填します。次にプライマーを塗布した後、シーリング材を充填します。



注意事項

本品は、皮膚に付着するとかぶれやその他の健康障害を起こす恐れがありますので、取り扱いには下記の事項を守って下さい。

【取り扱い上の注意】

1. 眼、皮膚への接触をさけるため、適切な保護具(手袋、長靴、保護メガネ、マスク等)を着用して下さい。
2. 取り扱い後は顔、手、口等を水洗いして下さい。
3. 取り扱い作業場所の換気は充分にしてください。
4. 火気のある場所での使用、保管は避けてください。

【応急処置】

1. 眼に入った場合は、多量の水で洗い、必要に応じて医師の診療を受けて下さい。
2. 皮膚に付着した場合は速やかにふき取り石鹸でよく洗い落として下さい。
3. 飲み込んだ場合は、多量の水を飲んで吐き出し、医師の診断を受けて下さい。

【貯蔵保管】

1. 温度は5℃～35℃の一定の場所を定めて保管して下さい。
2. 保管は密封状態のままで行い、開封後は全量使い切ってください。

【廃棄】

1. 廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。

※詳細な内容が必要な時は安全データシートをご参照下さい。